

説 教

北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2023年5月14日（日）

主 題：「本当に愛し合ひましょう」

—命 令—

テキスト：第2ヨハネの手紙1章4～6節

はじめに

- ・おはようございます。
- ・前回、私たちは「本当に愛しています」というテーマで、主の御声を聞きました。私たちはキリストの愛のうちに歩むことが、大切であることを聞きました。それは真理のうちに歩むことでもあります。
- ・私たち兄弟姉妹の関係は、互いに「真理と愛」のうちに生きる場所にあることも学びました。生きておられる神と私の関係、それが最も大事なことです。その縦軸がしっかりするならば、聖徒と聖徒の横軸は「真理と愛」のうちに置かれていきます。
- ・日々の主とのお交わりであるデボーションは、必須となってきます。私たちも神の愛のうちにあって、幸いな信仰生活を歩むために、神の愛（アガペー）にあって、歩む大切を覚えました。
- ・ここまでの、前回私たちが主から教えられたことでした。今日はその続きで、「本当に愛し合ひましょう」というテーマで、メッセージをお届けします。 2点

大切なポイント

1. 愛し合うことの勧め

1:5 そこで婦人よ、今あなたにお願いします。それは、新しい命令としてあなたに書くのではなく、私たちが初めから持っていた命令です。私たちは互いに愛し合ひましょう。 2ヨハネ

- ① しばらく前になりますが、私はニュージーランドに宣教旅行に行きました。私の友人が夜、浜辺に連れて行ってくれました。真っ暗で、何もない夜でした。彼は砂浜の上にシートを敷き、私たちはその上に寝て空を見上げました。そこは天空にある星の大パノラマでした。無数の星、しかも美しく輝く星、弱い光を放つ星、星と星を繋いでいくと動物や人の形が見えてきました。それは本当に美しくいう夜空でした。

- ・私の友人はかつて理科の教師でしたので、天体の知識は実に豊富でした。そこで彼の解説を聞きながら、私は天の雄大さに圧倒されました。皆さん。星があつてこそ天の雄大さを見ることができます。
- ② 同じように、花があつてこそ、地上は美しく飾られるのです。地上に花があつてこそ、地上は美しく飾れます。そしてその花によって、私たちは心癒されます。神は地上にお花を置かれ、私たちの心を和ませ癒しを与えてくださっています。
- ・同じように、愛があつてこそ人と人との交わりや、社会生活が健全に営まれるのです。夫と妻の夫婦関係もそうです。親子関係もそうです。人と人の関係、民族と民族の関係、さらに国際関係もそうです。
- ・互いに愛し合うことこそ、すべてに優先して重んじられ、尊ばれるべきものです。神が人類に与えた戒めも「あなたの隣人をあなた自身のように愛なさい」(マタイ 22:39)、という厳粛な一言に凝縮されます。
- ・ですから、愛の章と呼ばれるコリンと第一の手紙 13 章では、次のように記しています。1 コリント人への手紙 13 章
 - 13:1 たとえ私が人の異言や御使いの異言で話しても、愛がなければ、騒がしいどらや、うるさいシンバルと同じです。
 - 13:2 たとえ私が預言の賜物を持ち、あらゆる奥義とあらゆる知識に通じていても、たとえ山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、私は無に等しいのです。
- ・しかしながら、私たちが持つ愛とは、変化して行くものです。フランスが生んだ天才学者パンセ (pensée) は、次のように言いました。「彼は 10 年前に愛した婦人を、もはや愛さない。その筈である。彼女は依然と同じでなく、彼も同じではない。彼も若かったし、彼女も若かった。今や彼女は別人である。彼は、彼女が往時のようであつたら、今なお愛したかもしれない。」
- ・パンセは、人間とはそのような者であると述べました。しかし聖書が教える愛は、そのような変化する愛ではありません。いいえ。いつまでも変わることのない愛のことです。
- ・では、聖書はヨハネを通してどのような愛を勧めているのでしょうか。

2. 聖書が教える愛

- ・聖書が教える愛とは、イエス・キリストが表された愛です。人知をはるかに超えた愛です。そしてどこまでも赦し、どこまでも与えていく愛です。私の友人は愛には2種類ある、と言いました。

1) 2種類の愛

① 「だから愛」 (キリスト抜き愛)

- ・美しい人だから愛する。やさしい人だから愛する。魅力的な人だから愛する。性質が良い人だから愛する。親切な人だから愛する等。いわば条件付きの愛のことです。

② 「けれども愛」 (キリストにある愛)

- ・神の愛は、条件を何一つ付けず、無条件で相手を受け入れる、与える愛のことです。汚い人だ。けれども愛する。なんの良い点もない。けれども愛する。➡この「けれども愛」が主イエス・キリストの愛なのです。

- ・イエスは自らの特権を主張されませんでした。ご自身を相手の立場に置かれました。そればかりではありません。十字架の愛をもって相手に全てを与えてくださいました。相手はまったく愛されるに値しない者ですが、**けれども愛**してくださる愛です。

- ・キリスト者(聖徒)とは、「**けれども愛**」に生きる人のことです。

2) 「キリストの愛」に生きる

- 1:6 私たちが御父の命令にしたがって歩むこと、それが愛です。あなたがたが初めから聞いているように、愛のうちを歩むこと、それが命令です。

2ヨハネ

- ・こんな話を聞きました。
あるところで、青年たちが集まりディスカッションしていました。話題は「結婚」でした。青年たちの結論は「どんなに愛があっても結婚しても、結局は経済力がなければ、その愛は長続きしない」ということでした。
- ・すると、そこにいた一人の青年が次のように言いました。
「愛とはそんなものではない。経済力に左右されるような愛なら、それは本物ではない。本当の愛は、すべてを超越するはずだ」と。
- ・他の青年たちは「お前の考えは甘すぎる。それを理想論だよ。」と言い、彼を笑いました。ところが、その理想論を語っているとされた彼が、皮肉にも一番はじめに結婚しました。彼は1級身体障害者で、歩くことも、スポーツや運動をすることも、働くことも全くできない障害者でした。
- ・その人の氏名は三橋^{かずとし}萬利師です。私が尊敬する牧師の一人です。

三橋萬利師が結婚したのは、夫人が19歳の時でした。当時、看護学校の学生であった彼女は、両親や兄弟たちから猛烈な反対を受けました。両親からは

勘当されましたが、^{ゆきこ}幸子夫人は看護学校を中退し、

三橋萬利師と結婚しました。萬利師は小児麻痺のため、両手両足の自由を失っていました。それに生活をするにしても、経済力は全くありませんでした。

- 幸子夫人は、そんな男と結婚して一生夫を背負って生きていかねばならないのです。両親の立場に立ってください。自分の娘の行く末を案じない親はいるのでしょうか。

- では、勘当までされて、どうして幸子夫人は萬利師と結婚されたのでしょうか。それは次の聖書のことばが彼女の心に迫って来たからと言われました。

ヨハネ福音書15章

15:13 人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。

- 幸子夫人にとって、自分の都合や計画を主張することではなく、相手を受け入れ相手の益を図ることが、いのちを捨てることに通じる愛でした。人を受け入れるのに、自分を主張していたのではどうしようもありません。
- 三橋萬利師は、どこに行くにも夫人に背負われて行きました。彼は札幌で最も大きな教会を建てられ、札幌市長からも名誉市民として表彰されました。作家の三浦綾子女史も、三橋夫妻を「私の最も尊敬する夫婦」と呼ばれていた。
- 私がドイツに居た時のことでした。三橋夫妻にドイツまでお越しいただきました。私は通訳者として、ドイツの教会で共に奉仕をさせていただきました。当時、ロシアから帰還した多数のロシア系ドイツ人教会で、集会した時のことでした。
- シベリアから帰還したばかりの婦人が、「説教は不要です。」言いました。夫人がご主人を背負っている姿を見たとき、そこに真の愛を見ていると言いました。愛はすべてを超越すると、夫妻は信じていました。三橋夫妻は模範的な愛の夫婦として、神の前で素晴らしい働きをなされました。
- 相手を認め、受け入れ、自分を与えていくところに愛の行為が生まれます。それに引き換え、いかがでしょうか。今の社会は、あまりに自分の権利を主張しすぎてはいないでしょうか。

- マタイの福音書22章



22:37 イエスは彼に言われた。「『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』

22:38 これが、重要な第一の戒めです。

22:39 『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。

22:40 この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」

- ・御子をお与えになられたほど世を愛してくださり、一人も滅びることを望まれない神の御旨を、心の中にはっきりとどめて歩む者こそ、本当のクリスチンです。

1:6 私たちが御父の命令にしたがって歩むこと、それが愛です。あなたがたが初めから聞いているように、愛のうちに歩むこと、それが命令です。

- ・父なる神の命令に従い、愛のうちに歩むことです。それが愛です。そして愛の証人です。

ま と め

主 題：「本当に愛し合いましょう」

—命 令—

- ・神は私たちにお語りくださいました。それは愛に生きる人生です。神の命令にお従いする道です。
- ・では、どうすれば互いに愛し合う道を歩むことが可能でしょうか。
 - ➡ 神の前に心を静めること
 - ➡ そのために時間と場所を確保すること
 - ➡ かみのみことばを聞き、従うこと

1:6 私たちが御父の命令にしたがって歩むこと、それが愛です。あなたがたが初めから聞いているように、愛のうちに歩むこと、それが命令です。

* God bless you !